

第97回メーデー北海道集会 歴史の岐路、いま立ち上がろう 鉄道本部が「北の鉄路を守ろう」の訴え

第97回メーデー北海道集会は5月1日に札幌・中島公園「自由広場」で開催され、「歴史の岐路、いま立ち上がろう」のスローガンのもと1,300人が集まりました。桜の花びらに風で舞う中で、建交労も北海道鉄道本部をはじめ札幌合同支部・札幌地域支部・札幌ダンプ支部・札幌学童保育支部などの組合員18人が参加しました。今年メイン企画の「つぶやきから希望へ」を各労働組合や団体が語り合う1分間スピーチでは、北海道鉄道本部の仲間が「黄色線区の上下分離」をJR北海道が提案していることをつぶやき、「みんなの声を力に、国の責任で北の鉄路を守ろう」と訴えました。なお道内では28か所で開催されました。

十勝建設支部 「建退共・健康相談会」に8人

十勝建設支部は4月26日に「建退共・健康相談会」をおこない8人からの相談を受けました。相談内容は、振動障害・3件、じん肺・2件、アスベスト・3件、騒音性難聴・4件でした。支部はダイレクトメールなどで案内をして毎年相談活動を続けてきましたが、新聞にチラシを折り込んだの相談会は7年ぶりでした。

1～4月の新規認定は36件

道本部労災職業病部会は今年1～4月の新規認定のとりくみなどをまとめました。新たに労災認定されたのは合計36件で、内訳は振動障害・13件、じん肺・1件、アスベストの遺族補償5件、騒音性難聴・17件です。また、労災申請などの要求で40人が建交労に加入しました。

北海道鉄道本部 「カレイ釣り交流会」

北海道鉄道本部は、恒例の小樽港祝津沖での「カレイ釣り交流会」を4月19日に予定していましたが波浪注意報が発表されて中止となり、5月4日にリベンジで開催しました。雨模様の中12名が参加し、重量賞は小樽支部・猪股さんが6.6kgを釣り上げて優勝、マガレイの身長賞は35.0cmを釣ったゲスト参加の苗穂機関区・安藤さん、珍魚賞にはピンクの鎧を背負ったカナガシラを釣った苗穂の梅木さんと札幌運転所の大井さんでした。今年も参加してくれたコウタくん（小学校4年生）は年々上手になって、常に竿を握って誘いをかけて、雨にも負けず終了時間まで休まず頑張り、重量で5kgを釣り上げ大人顔負けの3位でした。今年の祝津沖は4月の頭は良型のマガレイが上がっていましたが、中旬以降は週末の天候がきまって荒れ模様となり、出船できない日が続いていました。久々の釣行で期待をしていましたが、雨にもあたって釣果は今一つ伸びませんでした。それでも仲間たちが船上で顔を合わせて近況を語り合えたので大切な一日となりました。ゲスト参加の安藤さんは猪股さんと鉄道学園SL・DL機関士科の同期で、懐かしい顔合わせとなりました。

【北海道鉄道本部・竹田吉宏】